

2017年4月

学園通信



帝京ロンドン学園
Teikyo School
Framewood road,
Wexham,
Buckinghamshire
SL2 4QS



入学式 4月7日(金)

式辞

校長 村井 純一

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。帝京ロンドン学園を代表して、皆さんを歓迎いたします。また、ご列席の保護者の皆様にも心よりお慶びを申し上げます。

本日は、2017年度の入学式を挙げるにあたり、ご多用中の処、在英国特命全権大使・鶴岡公二大使、三菱東京UFJ銀行ロンドン支店笹山副支店長、帝京大学ダラム分校今関校長ご夫妻、インターナショナルスクール・オブ・クリエイティブ・アーツ（芸術学校）・佐藤理事長を始め、ご来賓のご隣席を賜り、心から御礼を申し上げます。青々と若葉が芽吹いた穏やかな春の佳き日、本日は、これからの3年間のスタートである記念すべき日です。この輝かしい門出にあたり、皆さんに、考えて欲しい事について、少しお話をさせて貰いたいと思います。

英国という国について。有史以来、英国抜きには語れない、と言っても過言では無いでしょう。特に“議会制民主主義”が13世紀初め、そして産業革命が18世紀初めに英国で始まった訳ですが、政治・経済を含め世界をリードしてきた国であり、この英国から学ぶべき点は多い。英国の魅力は、国民が、政治イデオロギーを好まず、自由で、現実に対し、柔軟である事、また民主主義に基づく競争こそが活気ある公平な社会をつくるの信念を抱いている事にあると思います。また、英国国民の思考形態だけでなく、古くからある伝統を大切にする一方で、新しいものをどんどん生み出して行くそのダイナミズムにも驚かされます。皆さんが、火曜日に行くロンドン市内、古い街並みを保存する一方で、近代的高層ビルも目の辺りにするでしょう。ロンドンには歴史的な魅力と、未来への未知のパワーが共存しています。

When a man is tired of London, he is tired of life.

(ロンドンには人生が与え得るものが全てある。ロンドンに飽きた人は、人生に飽きた人、と言ったのは、18Cの英国文学者の Samuel Johnson でした。)

さて、これから皆さんに心構えとして持って欲しい事が、2つあります。1点目ですが、“タフでグローバルな人間”を目指して欲しい。英語が単に上手く話せるようになるのが目的ではありません。自分と異なる考え方や価値観にさらされる事で、ぶつかり合い乍ら、受け止めもする。その中で自分の主張を表現すると同時に、相手の言い分も理解する。そういった機会を多く持つことを意識して持って欲しい。世界には色々な宗教、価値観、考え方の人がいる事が理解できると、自分の将来において、色々な事にチャレンジも出来るものです。その為には、学校での勉強もしっかり履修する事だけでなく、異文化との接点を積極的に体験するようにして欲しいですね。LOCAL COMMUNITY との文化、スポーツ面での参加、交流が幾つもあります。積極的な参加で、自分の視野が大きく変わると思います。

2点目は、皆さんは将来の夢をお持ちでしょうか。19世紀フランスを代表するロマン派の詩人・作家にヴィクトル・ユゴーという人がいます。ご存知の方も多いかと思いますが、「レ・ミゼラブル」の作者です。この作家は、数々の名言を残しているのですが、その中に「未来を創り出す最大のものは、夢である」という言葉があります。人の夢が未来を創るということです。かつて人類が夢見たものが、現在、数多く実現されています。たとえば、空を飛べたらという願いがなかった飛行機、月へ行ってみようという願いをかなえた宇宙ロケット、また、身近なところでは、スマートホンなどもそうですね。昔の人からみたらとても実現不可能なものが実現されています。かつての人間の夢が今の私たちの世界を創りあげています。そして、今現在、私たちが夢みているものも遠くならず実現するはずで、皆さんの夢はなんでしょう。皆さんは、将来、何をしたいのでしょうか。また、何になりたいと考えているのでしょうか。高校時代に、このことについて真剣に考えてほしいと思います。夢を夢で終わらせてはいけません。自分の可能性を信じて、前に進んでほしいと思います。その夢を実現するためには今、何をしなければいけないのか。どう行動すべきなのか、具体的な手立てを真剣に考えてほしいと思います。先延ばしにせず、考えて考えて考え抜いてほしいと思います。ドイツの詩人ゲーテはこう言っています。「夢は逃げない。逃げるのはいつも自分だ」まさにそうだと思います。面倒くさがらず、しっかりと考え、行動に移してほしいと思います。しかし、将来の夢や目標がまだ決まっていないという人も多いかと思います。そういう人は焦らず、じっくりと自分と向き合ってください。自分はどのような人生を歩みたいのか、何になりたいのか、答えが出るまで多少の時間が掛かってもかまいません。ただし、頭の中で考えるだけでなく、先生や先輩、ご両親に相談、就業体験やボランティア活動などにチャレンジして、見聞を広め、意識的に自分に刺激と情報を与えてください。

本日、日本から又中国から、世界各地からご参列いただきましたお父様、お母様の皆様には、本日より私共が大切なお子様をこれからお預かりする事になります。英国でしか経験出来ない事を含め、この学園で学ばせて良かったと思える様、職員一同、肝に銘じて見守りたいと思っております。どうぞ、ご安心下さい。

これで、私の挨拶と致します。本日の入学、本当におめでとう。

ギネス氏よりのご祝辞

学園創立当時にお世話になり、その後も学園との交流を続けているギネス氏（ギネスビールの元副社長）が学園近くにお住まいになっています。そのギネス氏より入学する生徒へご祝辞をいただきました。（日本語訳）



入学式の来賓

駐英国特命全権大使

鶴岡 公二様

（来賓を代表し、祝辞を頂きました）



帝京大学ダラム分校

校長 今関 雅夫様

三菱東京UFJ銀行ロンドン支店

副支店長 笹山 正男様

ISCA（芸術学校）

理事長 佐藤 幸夫様



保護者会会長

よりの祝電

保護者会会長よりご祝辞をいただきました。

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。あわせてご父母の皆様にも心よりお慶び申し上げます。新入生の皆様は今日からこのイギリスの地で新しい高校生活をスタートします。イギリスでの高校生活に多くの期待をもって入学してきていると思います。学園での高校生活はその期待を決して裏切ることのないものでしょう。日々の生活、地元との交流、ヨーロッパ各国への研修旅行で文化芸術にふれ、感性が磨かれることでしょうか。寮での生活を通して自立心を養うことができるでしょう。この自然に囲まれた学園生活は心も豊かにしてくれるでしょう。そして、周りで支えて下さる先生方、一緒に学ぶ同級生のお友人、そして先輩達との出会いを大切にしてください。出会いは自分自身を成長させてくれるもの、とくに高校時代をともに過ごした友人達との出会いは生涯続く一生の宝物です。この有意義な3年間の学園生活、出会いを大切に、皆さんにしか経験できない充実した高校生活過ごしてください。

保護者の皆様の中には遠く離れた地でのお子様の高校生活に不安を抱いていらっしゃる方もいるかもしれませんが、村井校長先生をはじめ学園の先生方はどのような時にも家族のような愛情をもって生徒一人一人に接して下さい。私達保護者の不安や相談にも一つ一つ丁寧に対応して下さい先生ばかりですので安心してお子様を見守って下さい。

最後になりましたが、帝京ロンドン学園日本後援会のご父母の皆様のご意見を反映しつつ有意義な運営をさせていただき所存です。後援会活動へのご父母の皆様のご支援とご理解、そしてご協力を頂きますよう宜しくお願いいたします。

新入生のみなさんのご健勝とこれからのご活躍を心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

保護者会会長

帝京ロンドン学園を出て右に曲がり、Windmill Hill 坂を下りて行くとフルマー村があります。この村は歴史によると Fugelmere と呼ばれていて、多くの野鳥がいる池や沼地のある小さな集落でした。古代ノルウェー人、デーン人、バイキングによる侵略から逃れた野生動物の天然保護区域となっていました。

現在のフルマー村は400年の歴史があり500人の住人がいます。1613年に建てられた教会がありますが、村にある Black Horse というパブも同じ時期に建てられ、教会を建てた石屋たちがこのパブに宿泊していました。それから後には村の集会場、幼稚園、近代的なパビリオン付きの運動場などが建てられました。ビクトリア女王が宿泊したこともあるという歴史的に名の残る豪邸もこの村にはあります。今皆様がいらっしゃる学園があるこの土地には Fulmer Grange がありました。

フルマー村は私を含むギネスファミリーにとっては50年来の住処となっています。そのうちの18年間、私は行政教区の委員として住民の厚生管理をしていました。この村に開発事業団が絶えず住宅を建築したいと申し出てきましたが、この緑地帯を失わないように努力してきました。この緑の多い土地、森林、カントリーガーデンは地域内でも最も良く保護されてきた村として長年表彰されていますし、私はそのことを非常に誇りに思っています。この学園にいらっしゃる際には是非フルマー村の散策をしていただくことをお勧めします。

帝京ロンドン学園が Fulmer Grange に創立されるという話を初めて聞いたときに、私達はこの学園をこの地に歓迎したいと思いました。亡き沖永総長の、世界の様々な文化を統合させるのではなく、お互いの文化を理解し尊重することで、世界平和は成し遂げることができるという考えを強く支持したいと思いました。皆様がこの国に滞在している際に、イギリスの文化の一部である色々な場所に訪れると思います。その際にそれぞれの場所がなぜそこに存在するのか、どういう経路で存在することになったのか、しっかり理解して欲しいと思います。19名の新入生の皆様、そして保護者の方々、本日のご入学を心よりお喜びを申し上げます。

C Edward Guinness CVO



生徒会より歓迎の言葉

Congratulations everyone and welcome to Teikyo School. My name is Ami Kobayashi. I am vice-president of the student union.

You must have come to England with great worries about living so far from Japan. We also felt the same when we started living at Teikyo School. Of course, we have overcome the difficulties. From now on, please ask us anything when you have problems. All members of Teikyo will become like a family for you.

In our school, there are many opportunities to visit various places in England and some European countries. And we also have a lot of opportunities to meet local people. Even if you are not good at English, please don't be shy. You must be positive and try to enjoy using English.

If you do not work hard, your English will not improve. So do your best to find every opportunity to use English – say "hello" to the people who work at Teikyo, join clubs outside the school, take part in the homestays or stay in the UK during your holidays. If you don't try, you will never succeed.

Let's overcome and face the worries and difficulties you may have with the help of your friends, teachers and your fellow students.

If I could give you one piece of advice, it would be to actively try everything you can. Your life here is valuable. Because, without doubt, it is an amazing chance. 3 years seems like a long time but it will pass very quickly. You will have grown both physically and mentally after 3 years so work hard to be the best you can.

この度は、新入生の皆さんご入学おめでとうございます。また、保護者様、お子様のご入学おめでとうございます。

本日から、日本から遠く離れたイギリスで、高校生活が始まります。新入生の皆さんはきっと学校生活に対しての大きな希望を抱いている一方、不安を抱いていると思います。しかし、心配しないでください。私たち在校生も1年前、2年前は同じ気持ちで入学式に臨みました。はじめのうちは、わからないことも多く、ホームシックになることもあるかと思います。そういう時は1人で悩まず、家族だと思って私たちに気軽に話しかけてください。

皆さんが充実した高校生活を送るために、特に2つ、意識してほしいことを、在校生代表として、話をしたいと思います。

1つ目は英語です。帝京ロンドン学園では英語を使う機会が増えますが、英語力は自然に伸びるものではありません。私はこの2年間、積極的に交流会へ参加し、長期休暇中は日本へ帰国せずにホームステイをし、英会話を楽しみ、英語力を伸ばしてきました。ラジオを聴いたりテレビを見たり、学校の中で仕事しているシェフやハウスマザーなどと話すこともいいと思います。イギリスにいることを活かし、自分から進んで、勉強してください。

2つ目は人間関係についてです。学校生活を送っていく中で皆さんは、勉強、部活、寮生活などで友達に支えられると思います。その友達を大切にして生活してください。今までにない、人間関係を築くことができ、ここ帝京ロンドン学園で出来た友達は人生のかけがえのない友となると思います。また、保護者、先生など、みんなの生活を支えてくれている、すべての人に対して感謝の気持ちを忘れないでください。

高校3年間で、英国文化に触れ、日本ではできないことをたくさん経験してください。辛いことがあっても、逃げずに挑戦してください。きっとその挑戦は大きな力となり、自分を成長させてくれます。最後に、本日は誠におめでとうございます。



青木紀久子様によるピアノ演奏を披露していただきました。

シューマン作曲 : Träumerei
バッハ作曲 : Choral from
Cantata No.147



新入生代表挨拶

私たち、1年生は本日より、帝京ロンドン学園の生徒の一員となります。故郷を離れる不安もありますが、新しい仲間と協力し合い、乗り越えていきます。

私は、一番に、英語力を向上させたいと考えています。そのため、ホームステイなどにも参加したり、地元の人との交流の機会にも積極的に参加したいと思います。さらに、英国の歴史ある文化を学んでいき、国際的な視野を身につけていきたいです。

もう一つ、私はサッカーコースに所属するので、大会での優勝を目指して、一生懸命練習に取り組みたいと思います。イギリス人のコーチにも教えてもらう貴重な時間を無駄にせず、自分から進んで質問し、サッカーの技術と英会話力を身につけたいと思います。

最後に、先生方、先輩方、まだわからないところがたくさんあり、迷惑をかけることもあると思いますが、これからよろしくお願ひします。また、イギリスでの生活を応援してくれている家族には、感謝をしています。この3年間で成長した姿を見せられるように、精一杯、高校生活を頑張ります。

Hello. My name is Haru Nakada. I am happy to enter Teikyo London high school. Maybe in my grade we feel nervous and worried about everything but also we have many chances to study.

For the first time in our lives we leave our parents and friends came to the airport. My friends said "Good luck" and came to see me. The next time if I meet my friends I want to show how much I have grown.

In the dormitory we live together. I am looking forward to making new friends. I would like to ask one thing to the senior students. If our grade has a problem, please help us. Earlier, I said we are sad to leave our parents. Beyond that, I think we can step up to the next stage.

For the next three years we can learn UK's history and culture that is something you can not learn in Japan. We would like to thank our parents for giving us a chance to learn here. From here in the UK we want to be active in the world.

We will definitely enjoy our time together.

始業式

始業式では校長先生のお話と新任の先生（美術科・菊間講師、家庭科・山路講師）の紹介がありました。

サッカーコース・部より

12日の水曜日より今年度の活動がスタートしました。まだ始まったばかりでチームという雰囲気は出ていませんが、これから時間をかけてじっくりとチーム力、個人能力を高めていきたいと思っています。

新入部員の1年生は全員技術がしっかりしているのでこれからの活躍に期待ができています。保護者の皆様には今年度も何かとサポートをしていただくことがあるかと思いますが、ご協力のほど宜しくお願い致します。（未弘）



学園の日々より

遠足 4月11日(火)



1年ロンドン市内観光バス/2・3年 Oxford

1年生はロンドン見学に出かけました。バスでロンドンの西側に位置するナショナルヒストリーミュージアムから主要名所を回り、その後、オックスフォードストリートで下車。コベントガーデンなどを散策し、ナショナルギャラリーで昼食をとりました。午後は、テートモダンからロンドンブリッジまで、テムズ川沿いを歩きました。天候も良く、遠足日和で、長時間歩きましたが、生徒達は最後まで元気にすごしていました。知り合ったばかりの1年生ですが、会話ははずみ、親交が深まった様子でした。(清木)



ロンドン見学を終えて 1年

私がロンドン市内見学で思ったことが一つある。物事について自分で考える必要があるということだ。正直なところ、見学をしていて日本とは全く違うことがあっても、例えば様々な人種の人々を見ても、それは海外だからと、少しの違和感しか感じられない。街並み等についても似たようなものだ。

しかし、このようにしか感じられないということは、私はものの見方が狭いのだと思う。もっと視野を広げ、様々な方向から物事を見て、何かしらの事を思い、考えていこうとする。そうすればもっと豊かな感性を持てるのではないかと思った。

歴史や文化の違い 1年

4月12日、ロンドンへ沢山の歴史的建造物を見に行き、私はますますイギリスの文化や歴史に興味を持ちました。イギリスには歴史が多く残っています。イギリスの人々は歴史や伝統をととても大切にす文化だと思いました。何百年前に作られた様々な建造物などを人々に公開することにより、建造物が身近に感じられる場所だと思いました。

それに比べて日本は経済発展とともに、歴史的建造物を取り壊しています。日本もイギリスのように文化や伝統を大切にすることによって、沢山の沢山人々に日本の良さを知ってもらえらると思いました。

私はもっと勉強をし、イギリスと日本の架け橋となるような人になり、文化や伝統を沢山人へ伝えていきたいと思いました。



4月11日、2・3年生は午前中に OXFORD、午後は BLENHEIM PALACE へ遠足に行ってきました。OXFORD ではリス・キャロルの「不思議の国のアリス」や映画『ハリーポッター』との関係が深い CHRIST CHURCH、BLENHEIM PALACE では英国元首相チャーチルが生まれた部屋を見学するなど英国史の学習に役立ちました。(魚山)



ブレナム宮殿 2年

第二次世界大戦次においてイギリスを勝利に導いたチャーチル首相の生まれたブレナム宮殿を訪れ、イギリス王室の生活の華やかな様子を身をもって感じることができた。個人的に特に印象に残ったのは絵画だった。とてつもない規模の天井画や歴代の侯爵やその家族を描いた絵画の数々は、労働者といった下層階級で生きたイギリス人とは真逆でブレナム宮殿に住んだ人々の位の高さを象徴しているように思えた。宮殿は戦争の勝利の功績を称えて建てられたもので、外国と戦い勝利を収めた経験が少ない日本にはない発想だと感じた。また、宮殿の名前であるブレナムは戦いの戦場となったドイツのブレンハイムを英語読みにしたというもので、議会政治をはじめとする新しいものを生み出すイギリスでは珍しい考え方だ。ブレナムに似たスペルを持つ街や都市はほかにもあるので、同じようなルーツの名前を持つ地域がほかにもあるのではないかと思った。

Oxford 見学 3年

Oxford には以前に2回ほど訪れたことがあったが、何回来てもレトロで自然が溢れるイギリスらしい雰囲気を感じられる魅力的な場所でした。以前に訪れた時には、二階建てのツアーバスで Oxford の街を周りながら観光をただけで、Christ Church をしっかり見学したことはなかったので、今回の outing で貴重な経験ができました。Christ Church を最初に見たとき、誰もこの建物を大学だと思わないと断言できるほど大きく、美しく、なによりその気品に目を奪われてしまいました。

街に入ると様々な college が見え、この地で世界最高峰の学力を持った人々が勉強をしているのだと思うと何か心に深く感じるものがありました。さらに、現首相テリーザメイを始め、多くの首相がこの Oxford で勉強をしていたことから、今後のイギリスを引っ張っていく人々と同じ地を踏んでいると考えていたら足が重くなりました。

現皇太子ご夫妻はこの Oxford で学生生活を送られていたと聞き、将来こんなにも素晴らしい地で皇太子ご夫妻のように勉強してみたいと思いました。

春休みのホームステイ&語学学校レポート

希望生徒が春休みに、現地校(Burnham Grammar School) & ホームステイ、 Brighton での語学学校 & ホームステイに参加しました。日本へ帰国せず、英語漬けの毎日を送っていた生徒もあり、新学期に成長した姿を見ることができました。

Ko2

I went to Brighton to learn English for four weeks. It is the second time. So I was looking forward to going to Brighton before I went. Also, I did enjoy the homestay. But sometimes it was hard. For example, almost all students stayed in Brighton for just one week. Because they were going back to their hometown every Saturday. So every Monday I was nervous. But I'm thinking it is a good kind of nervous.

This picture was my friend, his younger brother and me. My friend names is Fidel who is Spanish. He was interested in Japanese culture and politics. I thought he is older than me because he was good at English and clever. But he is 15!! So, I thought I must improve my English. Also, I respected him. His friends liked Japan too. I was so happy. As I thought, I like speak in English with international friends. I hope to do the homestay a lot!!



Ko2

I went to Brighton in spring holiday. I was very nervous about home staying in Brighton. My host family was very kind. They explained to me how to live in the house. My host father worked in a ski shop. He was very friendly. His dinner was very delicious. I was looking forward to dinner every day. His children came home on the weekend. Children likes football so they were watching it with family.

Language school was quite hard for me. My classroom was nice and teacher was very kind. Lesson was quite difficult. But very interesting. I made a foreign friend. His name is Marian. He's from Romania. He's eighteen years old. He worked in a Chinese restaurant as a waiter. He's very funny boy. He did not study hard and sometimes he was late for school so everyone said he is cheeky boy.

There were many good places in Brighton. I went to Brighton Pier. That's a nice place. I played a game there. I walked outside on the weekend. It's feels so good. I went to the beach. It was a nice view. Weather was very good. But sometimes there was a rainy day on the weekend.

There was a strange shop there. I was very interested in that shop so I wanted to buy something. But I didn't buy anything because it was too expensive.

I think that I had a good experience. Studying English is very important. I had a conversation with my host family. It's very important and very fun. I want to go to again there. It was a good memory.

Ko2

I went to Brighton. I did home stay. My host family is very kind and very friendly.

I went ELC. I went ELC every weekday. ELC was very fun. My class room and class teacher changed almost every week because teacher was teach other things and maybe my English level is up so changed. My English class is level up so I think my English level up. I want to go to Brighton again. Because fun and exciting.



Ko2

I went to Brighton. I did a homestay. There were only two people in my host family. They were an old couple. Their children had already left home because they were already adults. My host parents were kind. I went to ELC. The lessons were fun and I could talk with other nationalities so I could enjoy the lessons. One month in Brighton was quite fun.

Ko3

I stayed in Brighton for 4 weeks in my spring holiday. Why did I decide to go to Brighton? Because I wanted to improve my English level. And I wanted to learn about Brighton and enjoy sightseeing in Brighton.

I went outside everyday and talked with my host family and host family's daughter, ate dinner in my host family's house. My host family is very talkative and active. So I could go to Brighton Pier on Saturday or Sunday. It's very good for raising my English level.

In my language school I could speak only English. So if I wanted to talk with my Japanese friends, I had to use English. It's special for us but a good thing. So I tried my best.

I finished school and I think I my English level is better. It's a good experience for me. So if I can do it again, I want to join try.



Ko2

I stayed in Brighton in spring holiday. It was very exciting for me. My most memorable thing was to make new friends. Everyday we talked with each other. For example characteristic of the countries and hobbies. The most interesting story was about Switzerland. He said Switzerland people speak four languages so he can speak three language. Everybody was surprised. I was too.

I think that my world spread out in this spring holiday. Next, I won't to try homestay.



Ko2

I spent all days of my spring holiday studying English in Brighton. I had a very nice time. I took only morning class, so I had a lot of free time. So I went to various places, went shopping to little shops, saw the cliffs, sunset, beautiful sea, and night view, played games (like arcade games) at Brighton Pier and studied in a very nice library.

I like all the places. I think the best memory is to see the very big cliff. The reason why I thought I wanted to go to see the cliff is my language school teacher told me Brighton cliff is very huge so it was wonderful and we could go there by bus; so easy to go. And then, I went to there by bus, but when I returned, I walked to Brighton. So I was very tired but I could see a very beautiful sunset, townscape and sea. It made me happy. And then, I told my language school teacher about it, he was pleased. And I enjoyed talking with my teacher and classmate.



Ko2 (Burnham Grammar School)

It was the first time to do a homestay. Host family took me to Windsor on the weekend. Host mother likes watching films so we went to the cinema and host father likes having exercise so we went bowling and went to park to run. They were really kind to me so I felt relaxed a lot.

I went to Burnham Grammar school for 7 days which has more than one thousand students. I was in year 13 which is same as Ko 3 at Teikyo school. They didn't take lots of classes and most students only had 2 or 3 classes in a day. Other times, they studied or talked in common room. I had biology, chemistry, economics, sociology, business, math, physics, and English. I couldn't understand what teachers talked about in most of lessons. However, I realized that there were discussions and experiments in every lesson. Teachers let students think and imagine a lot. I didn't see lessons that only teachers talked and I felt the difference between Japanese educational system and that of England. In addition, students had tests and home works which have lots of descriptions. I was surprised that some students got offers from Cambridge University or Oxford University.

First four days, I felt difficult to make lots of friends, but I met some friends who had similar hobbies in the last three days. They were interested in Japan and I talked a lot. They also taught me lots of things. I really enjoyed going to school because of them.

I think my English speaking and listening skills improved during the home stay. However, I had lots of situations that I couldn't express what I exactly wanted to say and felt difficult to understand. It motivates me to study harder.



Ko3 (Burnham Grammar School)

I visited Burnham Grammar School (hereinafter called "BGS") for one week. It was the first time for me to go to some local school.

At first, I was very nervous about my lack of English ability. And on the first day, I could hardly understand every lessons just as I thought. At that time, I met the boy and he helped me so kindly. And he taught me a lot of English so polite and gently. He is great guy. And then, he introduced me to so many of his friends, so I could have a great relationship with them thanks to that. They were so kind and friendly for me. I talked a lot, danced and went out with them everyday. Of course, they spoke perfect English. That's not easy for me. However, everybody was always with me and supported my English. I was really touched by all their kindness. I had big laugh about their jokes many times. That was fun. Thus I have got used to listening and speaking high level English.

By the way, I met so many BGS student and I talked about different education between England and Japan. I could know some different points about them. Actually, I feel they have more discussions in lessons than Japan. That's interesting and valuable for me.

I went to BGS for a short time, but the memories in BGS are wonderful and a treasure for me. And on my final day, the great boy gave me the lovely surprise card. And I was moved tears. The time which I spent in BGS was wonderful. I really would like to go there again.



Ko2

I went homestay in Brighton. In the middle of March, I left Teikyo School. About 2 hours later, I arrived in Brighton. And I met my host mother. Her name is Linda. She is very kind for me and always laughed. Linda said 「You are a member of my family. So you can do something whenever you want.」 I was relaxed. And we have some rules. Our dinner will be at 6pm. If I'll be eating out or I'll be late, I must send message. In addition, the host parents are light sleepers so I couldn't make a big sound. At school I made friends from Germany, France, Korea, and so on. I went to many places. For example ODEON. I saw Beauty and the Beast. It was impressive for me. And my friends and I went to cliff next to Seven Sisters Cliff. It was very excellent. I was exhausted. But I could relax. I hope to meet my friends and my "another" family again sometime.



学園を訪れる方へ

イギリスの学校では、生徒の安全を守るためセキュリティを万全にするよう徹底しています。保護者が来校する際は、まずメール等で各担任に来校の日時をお知らせください。そして来校した際には、職員室にお越しいただき、来校の、また退出の旨を職員にお伝えいただけますようお願い申し上げます。